# 店品技人

**―ファイル20―**

プロフィール
池田（いけだ）　幸子（さちこ）
昭和6年3月24日生まれ
出身地：静岡県浜松市

## 池田屋食堂

横手市駅前町3-16
TEL.32-1872
【創　　業】昭和20年
【営業時間】10：30～23：00
【定 休 日】日曜日

**よく映画にも、駅前にある人情味あふれる女将さんや親父さんがいる食堂が登場しますが、そんなお店が横手にもありました。今回は、ご家族皆さんがとっても温かく、お客さんにとっては心のふるさとのような、そんな横手の駅前食堂「池田屋」さんにおじゃましました。**

暦の上ではとっくに春だというのに、お邪魔した日は大雪！でもそんな天気を吹き飛ばしてくれるかのような「は～あ～い♪」の温かい声で出迎えてくれた看板娘のおかみさん！ノリノリで取材開始です。

早速ですが、お店のカウンターの足元に線路のレールがあるとお聞きしたんですが…。

そうですよ。十月十四日の鉄道記念日に、JRから購入したんですよ。横庄線（かつての横手―本荘間）で使っていた物だって。うちも記念になるからね。

近くで見ると結構太いですね。

▲カウンターの足元にはピッカピカのレールが

そうだね。これ以上頑丈なものはないよ。それにたくさんのお客さんが足を置くから、今はピカピカだよ！

いえいえ。うちの主人は鉄道員だったから…。先代が夜鳴きそば屋として屋台を始めたんですよ。私も何回か廻ったかな～。

そうですか。ところでおかみさんは静岡県浜松市のご出身だと伺ったんですが…。なまりがなく発音がきれいですね。どんなご縁で横手市に嫁いで来られたんですか。

私の親が横手市出身で、学生時代、先代と仲が良く、よく行き来していたみたいで、そんな縁があって横手にきたんですよ。

横手に嫁いできて、食堂を切り盛りして六十年余り、時代が変わった性だけでなく、苦労されたこともたくさんあるのでは…。

最初は言葉も全然わからなくてすごく困りました。何か言われても皆が笑っているから今はおかしいことを言っているんだなぁって、それほど解らなかったんですよ（笑い）

そうすれば、お店は先代ご夫婦とおかみさんとで切り盛りしていたんですか。

お嫁に来てすぐはお店に出なかったんですよ。当時「めらしっこ」と言ってお手伝いさんが三人もいたから、お店のほうはその人達と先代夫婦とでやっていました。私は子供達の世話や家の奥の仕事が専門だったから、ちょっと寂しかったよ。何をしていいやらわからないし、言葉もわからないしね…。私が店に出るようになったのは、子供が大分大きくなってからだね。

お客さんは鉄道員の方が多かったですか。

そうだね～。鉄道員の方と学校の先生が多かったね。鉄道員の人達は夜勤明けに寄ってお酒を一杯飲んでいくんだけど、少しすると他の仲間が入ってきて一緒に飲んで、夕方になればまた別の仲間が来てっていう感じで、すぐ宴会が始まってしまうのよ（笑い）

▲ここは私の指定席なのよ

楽しそうですね。その時の光景が目に浮かぶようです。学校の先生も多かったというのは、やっぱり汽車を利用するからっていうことですか。

そうですよ。昔は学校の先生達もほとんど汽車通勤だったからね。

仕事帰りに「汽車時間までまだ時間があるから」って言って寄ってくれましたよ。

なにか昔話で面白いエピソードなんかありますか。

そうだね～。冬に出稼ぎに行った人たちは、稼いだお金をいっぱい持って帰ってくるべ～。そうすれば気も大きくなって、貰ってきたお金を半分も使っていくお客さんがいたったよ。「大丈夫だべか～」って心配したこと何回もあるよ。今は笑い話だけどね。

でも、先ほどからおかみさんのお話を伺っていると、昔はのどかでいい時代だったって感じますね。時間がゆっくり流れている感じがします。

そうだね、楽しかったよ。店にはいっつもお客さんがいっぱい出入りして、にぎやかだったからね。

ところで、現在のお店は息子さんが厨房で調理されているんですか。

そうです。息子夫婦が厨房で作っています。私はホール専門です。

看板娘ですものね！

ハ、ハ、ハ（笑い）今じゃ看板バッパだよ！

（一同大笑い！）スミマセン…

お店は午前中から夜遅くまで営業されているみたいですが、やっぱり駅前にあるお店だからですか。

電車の最終が夜十一時頃だからね。

普通はお昼が終わればだいたい二時くらいから休憩を取るお店が多いのに大変ですね。

大変じゃないよ、昔に比べれば…。昔は市場に行く人が朝六時の汽車に乗るため「あねぇー、飯炊けだがー」と言って入ってきて、うちで朝ごはん食べて出掛ける人がたくさんいたから。それに今は家族だけでやっているからね。

現在は大分電車の本数も減ってしまいましたからね。そんな昔の常連さんの中には、何年ぶりかで懐かしいと訪れる方もいらっしゃるんじゃないですか。

はい。「母さん、元気だがー」って学校の先生のOBとか、鉄道員のOBがたくさん来てくれますよ。とてもありがたいです。だから、まだまだがんばらなくっちゃ！

久しぶりにお店に寄って、おかみさんの元気な笑顔を見ると、パワーをもらって帰るお客さんもたくさんいるはず！私達スタッフもたくさんのパワーを頂きました。

今はお孫さんの花嫁姿を楽しみにしているというおかみさん。ずっと元気でお店の看板娘でがんばってくださいね。

ありがとうございました。

## イチオシ
ichioshi

池田屋さんのザル中華（大盛り500円）。時間のない時でも素早く食べられる一品として季節を問わずメニューにあります。冷えたコシのある麺と甘辛のつゆが絶妙にマッチングゥー！。これはハマリます。